



平成 27年度 港区運営方針

概要版

平成 27年 11 月
大阪市港区役所

も く じ

はじめに	・・・ 1
経営課題 1 区民主体のまちづくり	・・・ 3
1 豊かなコミュニティづくりの促進	・・・ 4
2 区民主体のまちづくりの推進	・・・ 7
3 多様な協働の推進とコミュニティ・ビジネスの促進	・・・ 9
経営課題 2 安全・安心・快適なまちづくり	・・・ 11
1 防災対策の強化	・・・ 12
2 防犯対策の強化	・・・ 18
3 歩行や移動の安全性の確保	・・・ 20
経営課題 3 健やかにいきいきと暮らせるまちづくり	・・・ 22
1 地域福祉の推進	・・・ 23
2 区民の健康増進と生活環境の改善	・・・ 26
3 多様性を尊重しあう共生社会づくりの推進	・・・ 29
経営課題 4 子育て世代が魅力を感じるまちづくり	・・・ 30
1 子育てしやすい環境の整備	・・・ 31
2 子育て世代の居住促進	・・・ 32
3 子どもの学ぶ力、生きる力の育成	・・・ 33
経営課題 5 訪れたい魅力と活気あふれるまちづくり	・・・ 39
1 地域経済の活性化	・・・ 40
2 築港地区のにぎわいづくり	・・・ 41
3 まちづくりに向けた資源・資産の活用	・・・ 44
経営課題 6 自律した自治体型の区政運営	・・・ 46
1 区長のマネジメントによる港区の特性に応じた区政の推進	・・・ 46
2 親切で信頼される区役所づくり	・・・ 51

＜はじめに＞

港区は、住民どうしのつながりが強く、地域活動が活発であるとともに、比較的狭い区域にありながら、鉄道や高速道路、国道など交通の利便性が高く、大規模な集客文化施設をはじめ歴史・文化・観光資源など、都市としての魅力的なランドマークが数多く存在し、都心の中でベイエリアを有する個性豊かな魅力的なまちです。少子高齢化の進展など地域社会をとりまく環境は大きく変化していますが、歴史が育んだ、港区民のDNAともいえるつながりの強さや、築港・天保山エリアが持つ歴史・文化的な魅力など、今後のまちづくりにあたっては港区の「強み」を活かすとともに、三方を海と川に囲まれ、高潮や津波に弱いといった地理的な「弱み」を克服するため、「区民主体のまちづくり」、「安全・安心・快適なまちづくり」、「健やかにいきいきと暮らせるまちづくり」、「子育て世代が魅力を感じるまちづくり」、「訪れたい魅力と活気あふれるまちづくり」の5つの柱で重点的に施策・事業を推進します。

区政会議をはじめ区民の皆さんから広くご意見をいただきながら、港区にふさわしい区民主体のまちづくりに取り組み、区民の皆さんとともに「いちばん住みたいまち、住んで誇りに思えるまち 港区」をめざします。

＜港区の目標＞

いちばん住みたいまち、住んで誇りに思えるまち 港区の実現

＜区役所の使命＞

豊かなコミュニティの形成や多様な協働による活力ある地域社会の実現に向けて、区長が自らの権限と責任のもと、区内の実情や特性に即して施策・事業を総合的に展開します。

区民の日常生活の安全・安心を担う総合拠点として、区民が利用しやすい親切で信頼される区役所づくりを進めます。

<平成27年度 区政運営の基本方針（どのように取り組むのか：区長の方針）>

港区の地域のコミュニティを更に活性化し、魅力ある資源を活用するなど活力あるまちづくりをめざします。

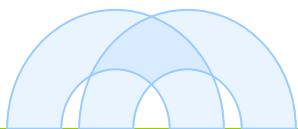
区独自に策定した、防災・防犯・福祉の各分野の基本計画（横系）のもと、地域主体で全地域において行動計画（縦系）を策定し、港区に横系と縦系が交わる安全ネットの第1層目が形成できました。今後、地域と連携、協働してより強い安全ネットをめざすとともに、住民の安全・安心の確保に向けて、行政の役割を果たすために必要な事業を推進します。

また、港区の魅力を伝える「みなトクモン」の拡充や、築港・天保山エリアの魅力の向上と活性化に取り組むなど、魅力ある資源を活かして活気あるまちづくりを推進します。

更に戦後70周年にあたり、区民の皆さんとまちづくりの歩みを振り返りながら「弁天駅前土地区画整理記念事業」について、今後の港区のまちづくりに貢献する事業内容等を取りまとめます。

教育の分野では、学校教育の支援や福祉的課題を有する児童・生徒の支援など、各学校園との連携を強化し、港区の教育環境の向上と教育課題への対応に取り組みます。更に、英語交流体験によるグローバル人材の育成など、教育事業を積極的に実施し、子どもの学ぶ力、生きる力を育みます。

区政運営については、企画段階から区民の皆さんの意見を把握し、成果について評価を受けることにより、施策事業の改善や新たな展開につなげていきます。また、区民志向、チャレンジ精神を持つ職員の育成に努め、区役所サービスの一層の向上に取り組みます。



経営課題 1 区民主体のまちづくり

高齢化が進んでおり、特に区内中部の市営住宅の多い地域ではその傾向が顕著で、独居の高齢者も多く住んでおられます。その一方、区内東部では大規模マンションの建設等が進み、子育て世代が増加していますが、人と人とのつながりや地域コミュニティの希薄化が懸念されています。

こうした状況の中、地域活動の担い手が高齢化するとともに、一部の担い手に役割が集中し、負担感が大きく、後継者不足につながっています。

これまで培われてきた、人と人とのつながりや絆（きずな）を礎（いしづえ）にしながら、より幅広い住民が参加し、身近な地域の中で生活課題等の解決に協力して取り組む豊かなコミュニティづくりが求められています。

地域課題を共有しながら活動が可能な範囲である小学校区を単位として、各種地域団体や企業、NPOなど多様な活動主体が地域活動協議会を形成し、地域の将来像を共有しながら、さまざまな地域課題に取り組む自律的、持続的な地域運営を支援し、区民主体のまちづくりを引続き推進していく必要があります。

また、自律的、持続的な地域運営を促進するためにも、地域活動へのビジネス手法の導入を進め、地域の就業機会創出や地域経済の活性化を図ることが重要です。

区民主体のまちづくり



地域活動協議会に対する補助事業・新たな地域コミュニティ支援事業 他

地域団体や企業・NPO など、様々な団体が話し合い、地域の活性化に向けて、地域活動や課題解決に取り組むことができるよう支援し、豊かなコミュニティづくりを進める。

1 豊かなコミュニティづくりの促進

地域におけるつながりや絆の大切さを啓発して、人と人が出会いつながる機会を提供します。

これまで地域活動に関心の薄かった方々をはじめとする、より多くの人たちに対して、地域団体の活動への理解を深めていただき、地域活動への参画を促します。このことによって地域への関心を高め愛着を育むとともに、会計の透明性の確保等、民主的で開かれた組織運営や促進します。

企業等に対しても地域活動の重要性を啓発して、地域活動に参画・連携するための機会や場の提供、マッチングなどを行います。

1) 地域の活動に対する広報の支援 【予算額 一 千円】

まちづくりセンターを活用し、地域活動協議会が地域住民に対してその活動や組織運営、地域におけるつながりやきずなの大切さ等を積極的に啓発・広報することなどを支援します。

このことによって、地域のより多くの人たちに地域活動への理解の促進と活動への参画ならびに地域への愛着を育む機会を提供します。

目 標	組織運営や会計、活動情報、つながりやきずなの大切さの啓発・広報が、地域活動への理解の促進と活動への参画ならびに地域への愛着を育むことに役立ったと感じている地域の数：11 地域
-----	---

・ 広報研修会の開催：1 回

・ 地域広報活動状況

広報紙発行：11 地域、ホームページ作成：5 地域、フェイスブック開始：7 地域

取組実績

【業績目標の中間点検（8 月末時点）】

〔取組〕 予定どおり進捗できている。

〔目標〕 達成見込みである。

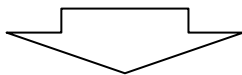
2) コミュニティ育成事業 【予算額：11,142千円】

コミュニティの育成や活性化を図るため、港区で活動するさまざまな団体やグループ、区民の企画段階からの参画を促し、各種イベントや講座を企画・開催するとともに、開催結果を情報発信していきます。

目 標 文化、スポーツ、子育てやコミュニティ促進等のイベントや講座等に企画段階から参画した団体やグループ、個人の数：延べ30団体・人

取組実績

- ・区民がイベントを企画するワーキング部会を公募により4部会組織。
コミュニティ促進事業部会：29団体・個人
スポーツ推進事業部会：13団体・個人
文化振興事業部会：15団体・個人 子どもの健全育成事業部会：15団体・個人
- ・区民が企画し実施するイベント
9/6：ふれあい音楽会 9/20：みなとわんぱくまつり 10/11：港区民まつり
11/1～11/3：文化のつどい 2/28：こどもパラダイス ほか



【業績目標の中間点検（8月末時点）】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 達成見込みである。

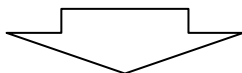
3) 校庭等の芝生化事業 【予算額：3,608千円】

校庭等を芝生化することにより、子どもが緑のもとで遊べる環境をつくとともに、その活動を通じて、地域の豊かなコミュニケーションづくりを促します。また、ヒートアイランド対策の一助とします。

目 標 新規施工1箇所に対して芝生化を行う。

取組実績

- ・新規施工について、実施予定校及び地域に対して事前説明のうえ調整中。



【業績目標の中間点検（8月末時点）】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 未達成見込みである。

4) 戦後 70 年記念 大阪港周辺戦争体験・復興記録事業

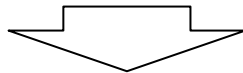
【予算額：5,050 千円】〈新規〉

戦争体験者（20 名程度）から聞き取りを行うとともに、大阪大空襲等による大阪港周辺の戦争被害から区民が一丸となって取り組んだ港区の復興に関する資料を収集・記録・編集し、ホームページ等により公表します。また、小・中学生を中心とする、子どもとともに復興の歴史を学び、戦争の悲惨さ等について後世に語り継いでいきます。

目 標 区民モニターアンケートにおける港区を中心とした大阪港周辺の戦争被害や戦後復興についての認知度を、平成 27 年度中に 50%以上にする。

取組実績

- ・ 広報みなと 8 月号に特集記事を掲載。
- ・ 広報みなと 9 月号以降、毎月、戦争体験者の体験記録を連載。
- ・ 区ホームページに大阪港周辺と港区の歴史を振り返る原稿を作成中。
- ・ 10 月の港区民まつりでのパネル展示。



【業績目標の中間点検（8 月末時点）】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 達成見込みである。

※目標に対する達成状況の最終測定については、今後、アンケートなどにより実施予定。

2 区民主体のまちづくりの推進

各小学校区で、地域住民による自律的、持続的な地域運営を実現するため、地域団体や企業、NPOなどの活動主体が幅広く参画して、地域特性に応じた課題の解決に協働して取り組んでいく「地域活動協議会」の活動や法人格の取得など社会的信用を高めるための取組みを、まちづくりセンター（地域活動協議会の運営等を支援する中間支援組織）を活用して支援します。

地域活動協議会のもとで実施される地域活動に対する補助金については、活動内容を限定せず、地域活動協議会の話し合いによって主体的に活用できる仕組みを継続して実施します。

1) 地域活動協議会に対する補助事業 【予算額 29,130千円】

地域コミュニティの活性化や防災、防犯対策の強化、子ども・青少年の育成、健康・福祉の向上など、地域課題への対応・解決に向けて、地域活動協議会が自律的、継続的に活動ができるよう財政的支援を行います。

目 標 本補助制度を地域の実情に即して有効に活用できたと感じている地域活動協議会の数：11 地域

- ・全11 地域に補助金を交付：（5月）
- ・補助金に係る説明会を開催：（8月25日）
- ・地域での補助金説明会を開催：2地域（田中地域6月、三先地域6月）
- ・今後、補助金にかかる説明会を1回程度開催予定。また、各地域での補助金説明会を随時開催予定。

取組実績

【業績目標の中間点検（8月末時点）】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 達成見込みである。

2) 新たな地域コミュニティ支援事業 【予算額 15,939千円】

まちづくりセンターの助言や指導、コーディネート等を通じて、幅広い住民参画の促進や新たな担い手の育成と拡大、団体間の連携・協働を図ることで、地域活動協議会の活動内容を充実させるとともに、会計の透明性の確保等、開かれた組織運営や法人化に向けた取り組みを促します。

目 標 自律的な地域運営に取り組んでいると感じている地域の数：11 地域

運営支援

- ・ 広報に係る支援：全11 地域。
- ・ 会計処理に係る支援：全11 地域。
- ・ 事業実施に係る支援：全11 地域。

取組実績

【業績目標の中間点検（8月末時点）】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 達成見込みである。



3 多様な協働の推進とコミュニティ・ビジネスの促進

地域団体や企業、NPOなどさまざまな活動主体が交流する機会や場を提供するなど、多様な協働・連携を促進します。

地域活動の担い手に研修や実際の活動を通じてノウハウを学ぶ機会を提供することで、地域づくりやまちづくりのためのコーディネートを行うことができる人材を育成するなど、多様で厚みのある地域コミュニティの形成を促進します。

自律的、持続的な地域運営のため、まちづくりセンター（地域活動協議会の取組みや運営等を支援する中間支援組織）を活用してコミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネスを促進するとともに、本市事務事業の社会的ビジネス化を図り、地域における就業機会の創出や人、モノ、カネ、情報などの資源の循環による地域経済の活性化をめざします。

1) 多様な協働による活力ある地域社会づくり事業 【予算額 653千円】

魅力と活気ある地域社会づくりに向けて、地域団体や企業、NPOなどの多様な地域活動の担い手のすそ野を広げ、マルチパートナーシップによるまちづくりを進めていくために、多様な担い手に対し地域貢献活動や各々の強みを活かした連携・協働を呼びかけ、地域課題の解決についての具体的な取組みを促します。

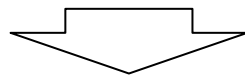
- | | |
|-----|--|
| 目 標 | ・「こども 110 番の家」登録企業を 5 件増
・「元気な港区づくりサポーター」登録企業を 5 件増
・港区一斉清掃作業の実施（20 団体）
・「港区ワークス探検団」（職場見学・訪問）開催（協力企業 8 社） |
|-----|--|

- | | |
|------|--|
| 取組実績 | ・中小企業家同友会との共催事業「港区ワークス探検団」（企業見学・体験）を実施 |
|------|--|

（協力企業 9 社 参加者 115 名）、大阪市立大学商学部と連携・実施（9 月末現在）

- | | |
|------|--|
| 取組実績 | ・青年会議所と連携し、大阪市港区防災サポーター登録 27 年度 8 件（延べ 52 企業・団体） |
|------|--|

（9 月末現在）



【業績目標の中間点検（8 月末時点）】

- | | |
|------|---------------|
| 〔取組〕 | 予定どおり進捗できている。 |
| 〔目標〕 | 達成見込みである。 |

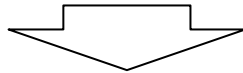
2) 地域活動のコミュニティビジネス化等の支援 【予算額 一 千円】

まちづくりセンターなどを活用し、地域活動の担い手に対してコミュニティビジネスの意義やメリットを紹介し理解を深めます。また、事例や手法などの情報提供、専門相談機関等への連絡・調整を支援します。

目 標 地域が取り組むコミュニティビジネスの件数：8 件

・今後、コミュニティビジネス等にかかる研修会（情報交換会）を
2 回程度開催予定。

取組実績



【業績目標の中間点検（8 月末時点）】

〔取組〕 予定どおり進捗できている。
〔目標〕 達成見込みである。

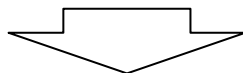
3) 広報紙配布事業の社会的ビジネス化 【予算額 一 千円】

すでに区内の複数の地域で取り組まれている事例の成果やメリット等を、まだ取組まれている地域に紹介し、取り組みを促進します。

目 標 広報紙配布事業を活用した社会的ビジネス化を区内全 11 地域に広げる。

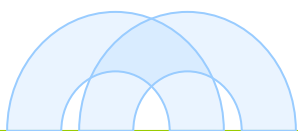
・配布事業に地域の見守り活動を含めることでソーシャルビジネス化を行い、
区内 10 校下においては地域活動協議会による配布が行われている。

取組実績



【業績目標の中間点検（8 月末時点）】

〔取組〕 予定どおり進捗できている。
〔目標〕 達成見込みである。



経営課題 2 安全・安心・快適なまちづくり

港区は三方を海と川に囲まれ、津波や高潮の被害を受けやすい地勢にあり、津波を伴う海溝型地震への対策が急務です。このため、大規模災害が起こった時に自助・共助・公助の役割分担のもと、迅速かつ的確な対応が行えるように、区特性を踏まえた防災対策を強化するとともに、区民の防災意識をさらに高め、地域防災力の強化を図る必要があります。

また、街頭犯罪については、犯罪の発生状況に基づき、警察や地域などと連携を強化し、地域実態に基づいた防犯活動を展開する必要があります。

自転車放置の増加や交通事故のうち自転車関連事故が5割近くを占めていることから、区民一人ひとりが、自転車のルールやマナーを守るよう取組みを強化し、自転車利用の適正化を図る必要があります。

弁天町駅前交差点は交通量が多いため、国道43号を地上横断するための横断歩道がありません。このため代替手段として地下道が設置されていますが、地下道へ通じるスロープが急勾配です。このため、車いす利用者やベビーカーの利用者、高齢者が弁天町駅前で安心して国道43号を横断できるよう改善策を講じる必要があります。



地域防災の活動支援事業 他

地域主体の防災訓練の実施に向けた支援や、犯罪発生を抑止を図るとともに、交通ルールの周知とマナー向上に取り組む。

1 防災対策の強化

地域防災力の強化に向けて、平成 26 年度に策定した各地域の防災計画が災害時に着実に実践できるよう、幅広い住民や企業の参画による地域主体の訓練を支援するとともに、地域で活動する災害時の担い手を確保します。また、地域の自主防災組織による「避難行動要支援者支援計画」の策定を支援します。

災害発生時に迅速かつ的確な対応が図れるように、業務継続計画を踏まえて、地域や区内関係機関との情報連絡体制を確保し、区民の防災意識を高めるため、災害時に必要な情報を広報します。

津波に備えて区内の一時避難場所を引続き確保するとともに、区内の福祉避難所の設置及び運営のための学習会を開催します。

誰もが避難できる収容避難所の確保、備蓄物資等の整備を支援します。

弁天町駅の帰宅困難者対策のため、駅周辺の関係機関との協力体制を構築します。

1) 避難行動要支援者対策の促進 【予算額 一 千円】

地域防災力の強化に向けて、地域の自主防災組織による「避難行動要支援者支援計画」の策定を危機管理室の自主防災組織力向上コーディネーターと連携して支援するなど、地域における避難行動要支援者の避難支援の取組みを促します。

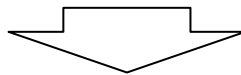
目 標 避難行動要支援者の避難支援の取組みを実施した地域：6 地域

- ・ 第 1 回地域防災活動情報交換会：（4 月 22 日）
- ・ 第 2 回地域防災活動情報交換会：（8 月 26 日）

取組実績

地域の防災担当役員に対して、2 回の情報交換会で全 11 地域に対して、避難行動要支援者の避難支援の取組みを働きかけた。

今後、各地域の避難所開設訓練等で車椅子体験訓練等を実施し検証を行い、避難行動要支援者計画づくりにつなげていく。



【業績目標の中間点検（8 月末時点）】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 達成見込みである。

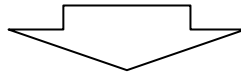
2) 地域防災の活動支援 【予算額 3,662千円】

地域住民が主体的に避難所を開設・運営できるよう支援するとともに、平成26年度に策定した各地域の防災計画を地域主体で実践するための地域における防災学習会の開催を支援します。

目 標 避難所開設訓練又は地域防災学習会を実施した地域の数：全11地域

取組実績

- ・避難所開設訓練：1地域実施済（磯路地域：6月14日）
10地域実施予定（27年10月～28年3月）
- ・防災学習会：7地域で実施済（9月末現在）
今後、4地域で実施予定（11月末までに）



【業績目標の中間点検（8月末時点）】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 達成見込みである。

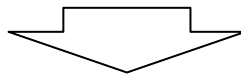
3) 防災リーダーの育成 【予算額 933千円】

地域防災リーダー及びジュニア防災リーダー（中学生）に対し、消防署及び大阪市危機管理室地域防災活動アドバイザー等と連携した訓練等を実施します。

目 標 防災学習を受けた中学生のうち「災害時の役割等を理解した」と答えた生徒の割合：80%

取組実績

- ・新人地域防災リーダー研修会：（7月8日 36名参加）
- ・中学校での防災学習会（ジュニア防災リーダー講習会）
港南中学校：6月20日実施済、市岡東中学校：28年2月実施予定、市岡中学校、港中学校、築港中学校：28年3月実施予定



【業績目標の中間点検（8月末時点）】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 達成見込みである。

※目標に対する達成状況の最終測定については、今後、アンケートなどにより実施予定。

4) 災害時における初期初動体制の強化 【予算額 一 千円】

区災害対策本部の初期初動体制をより強固とするため、平成 26 年度に策定した「勤務時間外初期初動マニュアル」を活用し、区緊急本部員と大阪市各局職員のうち直近参集職員に指定された区内居住職員が連携した区災害対策本部の立ち上げ訓練等を実施します。

目 標 訓練に 30 分以内に参集した直近参集職員の割合：2/3 参集

・直近参集職員及び緊急区本部員の合同訓練：未実施
28 年 1 月実施予定。

取組実績

【業績目標の中間点検（8 月末時点）】

〔取組〕 予定どおり進捗できている。
〔目標〕 達成見込みである。

※目標に対する達成状況の最終測定については、今後、訓練実施時に確認予定。

5) 防災広報・啓発事業 【予算額 291 千円】

区民の防災意識を高めるため、防災に関する基本的な情報に加え、災害時における「自分の命は自分で守る（自助）」「自分のまちは自分たちで守る（共助）」の取り組みの紹介や津波避難ビルや災害時避難所等の場所を掲載した区広報紙の防災特集号を作成し配布するとともに、区ホームページにおいて適宜情報を更新し、発信します。

目 標 「災害の備えとして港区の広報紙や HP、防災フォーラムが参考になった」と答えた区民の割合：70%

区広報紙 8 月号で防災特集記事を組み、港区防災マップ等を掲載。

取組実績

【業績目標の中間点検（8 月末時点）】

〔取組〕 予定どおり進捗できている。
〔目標〕 達成見込みである。

※目標に対する達成状況の最終測定については、今後、アンケートなどにより実施予定。

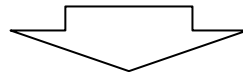
6) 区内外国籍住民への防災情報の提供 【予算額 597千円】<新規>

防災マップおよび災害に対する基本的な情報を、3カ国語（英語、中国語、韓国・朝鮮語）に翻訳しホームページに掲載するとともに、翻訳した防災マップ等を作成し港区に転入してきた外国籍住民等に配布します。

目 標 作成した防災マップ等を外国籍住民等に配布した数：300部

- ・区広報紙8月号に掲載した港区防災マップを3ヶ国語に翻訳、印刷し、港区に転入してきた外国籍住民等に配布する。：28年3月末までに実施予定。

取組実績



【業績目標の中間点検（8月末時点）】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 達成見込みである。

※目標に対する達成状況の最終測定については、今後、配布時に確認予定。

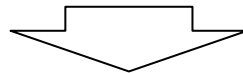
7) 津波避難ビルの確保 【予算額 一 千円】

区内の公共施設、大規模施設、全国チェーン店等は危機管理室が、地域の民間施設は区役所が地域と連携して、津波来襲時に緊急避難できる「津波避難ビル」として指定を行います。

目 標 新たに指定した津波避難ビルの数：5箇所

- ・5箇所確保済（9月末現在）
- 28年3月末までにさらに5箇所働きかける。

取組実績



【業績目標の中間点検（8月末時点）】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 達成見込みである。

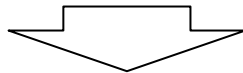
8) マンション内での共助の促進 【予算額 400千円】

津波来襲時にマンション内の低層階の住民が高層階に避難できる共助の取り組みを促します。
そのため、新たに高層階への避難の取り組みを実施するマンションを募集し、備蓄物資等の整備を支援します。

目 標 津波来襲時に同じマンションの高層階に避難できる取り組みを行ったマンションの数：8 箇所

- ・平成27年7月に8箇所を募集済
区ホームページ、Twitter、Facebook、マンション管理機構ホームページ、合同会長会で各2回計10回周知済
応募数：1箇所（9月末現在）
募集期間延長し、引き続き募集中（10月16日まで）

取組実績



【業績目標の中間点検（8月末時点）】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 未達成見込みである。

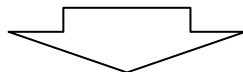
9) 防災サポーター登録企業等の確保 【予算額 一 千円】〈新規〉

港区内の各地域において防災活動に協力し、被害の軽減や地域生活の早期復旧等に貢献する災害時ボランティア制度を充実させるため、港産業会等への働きかけを通じて防災サポーター登録企業等の確保を行います。

目 標 登録企業等の数（累計）：50 社

- ・港産業会及び福栄会加盟企業に対し、総会時や郵送等で働きかけ済
52 社が登録済（9月末現在）

取組実績



【業績目標の中間点検（8月末時点）】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 達成見込みである。

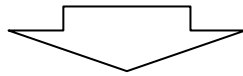
10) 福祉避難所の設置運営 【予算額 一 千円】〈新規〉

災害時避難所での生活が困難な高齢者や障がい者など、支援が必要な方のための福祉避難所（平成 26 年 9 月末現在 27 施設確保済）に対して、福祉避難所の立上げや運営のための学習会を開催します。

目 標 福祉避難所の設置・運営のための学習会に参加した福祉施設の数：27 施設

- ・学習会の開催：2 回（8 月 18 日、27 日）
（平成 27 年度に協定を締結した 1 施設を含め、全 28 施設から計 36 名参加）

取組実績



【業績目標の中間点検（8 月末時点）】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 達成見込みである。

2 防犯対策の強化

警察等と連携して、区民への防犯知識の普及・啓発活動や犯罪発生情報の発信を行うとともに小学校区ごとに毎年度数値目標を定めた地域の防犯計画を策定し、犯罪発生実態を踏まえた臨機かつ機動的な防犯活動を行います。

犯罪の発生の抑止を図り、子どもにとって安全・安心のまちづくりを進めるため、地域の団体やグループによる防犯パトロールなどの自主防犯活動を支援します。

学校、保護者、地域、関係機関等と連携して、子どもの安全に関わる危機管理情報の迅速な伝達を図るとともに、防犯カメラの設置やこども 110 番の家の活用など、登下校時や放課後における子どもの安全確保に取り組みます。

1) 地域防犯啓発事業 【予算額 520千円】

港警察署と連携して、区内の犯罪発生場所などの犯罪情報を地図上と一覧表に集約し、積極的に発信するとともに、地域と協働して防犯意識を高めるためのひったくり防止キャンペーンを実施し、街頭犯罪を減少させ、安全・安心な街づくりをめざします。

目 標 防犯意識が向上した区民の割合について、前年よりも 5%以上の増加率を目ざす。

- ・ 防犯関係事業にかかる説明会を実施（6月4日）
- ・ 安まちメール掲載件数 70 件（1～9月）
- ・ 警察、地域、小学校等と協働して実施した啓発活動：27 回（1～9月）
- ・ 区内の街頭犯罪 7 手口発生件数 410 件（1～9月、前年同期 426 件：3.8%減少）

取組実績

【業績目標の中間点検（8月末時点）】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 達成見込みである。

※目標に対する達成状況の最終測定については、今後、アンケートなどにより実施予定。

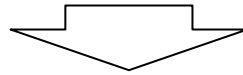
2) 子どもの安全見守り防犯カメラ設置事業 【予算額 1,606千円】

子どもへの声かけ事案や強制わいせつは依然継続して発生しています。一方で防犯カメラの設置は進んでいますが、ほとんどのカメラが民間所有・管理のため、公共空間の撮影範囲が少ないことや低画質のため犯人の特定に有効な機能が不足しています。区が犯人の特定に有効な防犯カメラを設置し、早期の犯人確保につなげることによって犯罪の発生の抑止を図り、子どもにとって安全・安心のまちづくりを進めます。

目 標 子どもが被害にあった区内の犯罪発生件数0件を継続。

- ・地域からの申請により13台を年内に設置予定
- ・子どもが被害にあった区内の犯罪発生件数0件（1～9月）

取組実績



【業績目標の中間点検（8月末時点）】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 達成見込みである。

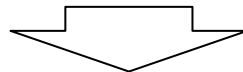
3) 子ども見守り隊活動に対する支援 【予算額 550千円】

港区の11小学校区の子ども見守り隊活動団体に対して防犯物品を支給し、その活動を支援するとともに、地域住民の防犯ボランティア活動への参加を促進します。

目 標 平成27年1～12月の子どもに対する声かけの安まちメール件数を5件以下とする。

- ・全地域から申請を受付け、11月中に防犯物品を支給予定
- ・子どもに対する声かけの安まちメール8件（1～9月）
- ・子ども見守り隊活動の実施校下：11校下

取組実績



【業績目標の中間点検（8月末時点）】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 未達成見込みである。

※目標に対する達成状況の最終測定については、上記時期のメール件数により確認。

3 歩行や移動の安全性の確保

放置自転車の減少に向けて、地域や関係団体との協働による啓発活動を行うとともに、撤去や駐輪場の運営にあたって効果的な対策を講じます。

警察と連携して、小学校や大人等を対象とした自転車講習会等を実施し、歩行者も含めた交通ルールの周知徹底とマナーの向上に努めます。

弁天町駅交差点のハード整備による抜本的な改善をめざした取組みを進めるとともに、暫定的措置として車いす利用者が地下鉄弁天町駅ホームを利用して横断できるよう取組みを継続します。

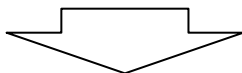
1) 自転車利用適正化事業 【予算額 845千円】

平成23年度の放置自転車やマナーに関する調査結果を基に、駅周辺の放置禁止区域を中心に啓発を実施するとともに、弁天町駅前ロータリー内の抜本的な放置自転車対策を検討します。

目 標 港区内全域の放置自転車台数：10,000台以下

- ・4月～9月の撤去回数：37回（月平均5.2回）。
- ・弁天町駅前において夜間撤去を実施（1～9月）
- ・区内全域の放置自転車台数11,191台（8月調査）

取組実績



【業績目標の中間点検（8月末時点）】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 未達成見込みである。

※目標に対する達成状況の最終測定については、今後、調査により実施予定。

2) 弁天町駅周辺のバリアフリー化に向けた取組み 【予算額 344千円】

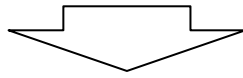
弁天町駅周辺（半径500m程度）のバリアフリー化を進めるため、関係局や関係機関と連携して、暫定的措置として、車いす利用者が地下鉄弁天町駅ホームを利用して国道43号を横断できるように支援します。

利用者からの事前申込をうけて、地下鉄弁天町駅に対応の必要に応じて介助員を配置します。

目 標 利用者のうち「今後も続けてほしい」と答えた人の割合：80%

- ・国道43号車いす横断支援事業を、事前申込の方法を改善した上で、昨年度に引き続き実施。

取組実績

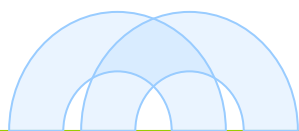


【業績目標の中間点検（8月末時点）】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 達成見込みである。

※目標に対する達成状況の最終測定については、今後、アンケートなどにより実施予定。





経営課題3 健やかにいきいきと暮らせるまちづくり

港区でも高齢化が進むとともに、一人暮らしの高齢者が増加しています。家族や地域における関わりが希薄化し、高齢者や児童などへの虐待事案も継続して発生しています。

支援を必要とする人が地域で安心して暮らせるよう、保健・医療・福祉の関係者やボランティア、NPO、企業など、地域に関わる多様な活動主体が協働して、地域社会全体で支えていく必要があります。

健やかにいきいきと暮らせるまちづくり



高齢者等要支援者の見守り支援事業 他

支援が必要なお年寄りの方などが安心して暮らせるよう、相談支援や地域の取り組みなどを進める。

1 地域福祉の推進

地域福祉を推進するため、25 年度に各小学校区において策定された「地域福祉活動計画（地域福祉アクションプラン）」に基づき、各地域において活動が着実に推進されるよう支援します。

高齢者が身近な場所で相談や見守り、一時的な援助が受けられるように、また必要に応じて専門機関や福祉制度が活用できるように各小学校下地域にコーディネーターを配置して、相談に応じるとともに地域においてつながりづくりや支えあいの活動に参加する新たな人材を発掘・育成します。

子どもの発達・発育が気がかりな保護者に対して心理的サポートや子どもの発達フォローを行うとともに、保護者どうしで相談や情報交換のできる場を設けるなど、保護者への支援を充実します。

高齢者、障がい者、子どもなどに関する相談機能を充実させるとともに、関係機関や地域で活動する団体・グループとの連携強化を図ります。

関係機関と連携し、児童虐待ケースに対応し、的確な支援に向け取り組みます。また、子育て支援サポーターの活動の場を広げ、地域において身近に相談でき、要支援児を区につなげやすい体制を構築します。

1) 地域福祉アクションプランの推進支援 【予算額 一 千円】

各小学校下の地域福祉活動計画（地域福祉アクションプラン）の内容が地域で根付き、活動が着実に推進されるよう支援を行います。

目 標 各地域福祉活動計画（地域福祉アクションプラン）情報交換会での参加校下：11 校下

- ・ 地域福祉講演会「防災を学ぼう」を平成 27 年 9 月 26 日（土）に実施
270 名が参加

取組実績

【業績目標の中間点検（8 月末時点）】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 達成見込みである。

2) 高齢者等要支援者の見守り支援 【予算額 14,795千円】

様々な福祉制度の狭間にある高齢者等に対する地域による見守りを強化するために、高齢者等の情報を区役所と地域、地域見守りコーディネーターが共有するとともに、地域での見守り協力事業者を発掘します。

地域見守りコーディネーターを区内全11校下に配置し、高齢者等の相談や見守り支援等を行うとともに、要援護者の情報収集や、見守りのための新たな人材や事業者を発掘・育成します。

目 標 見守り協力事業者の登録数：60件

- ・シニア・サポート事業に関する区民への認知度を高めるため、広報みなと7月号に事業内容について掲載
- ・見守り協力事業者登録数：27年度新規登録数6件（総登録数：70件）（9月末現在）

取組実績

【業績目標の中間点検（8月末時点）】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 達成見込みである。

3) 障がい者等にかかる相談支援 【予算額 3,261千円】

障がい者等からの相談に応じた情報提供や助言等が行えるよう、とりわけ障がい特性や支援手法についての普及・理解が十分でない発達にかたよりにある子どもとその養育者が早期に相談が受けられるよう、臨床心理士等による専門的な支援を行うとともに、養育者どうしが情報を交換しあい、また、同じ経験を持つ養育者に気軽に相談できる場の提供を行います。

目 標 「相談できる場を利用したことで不安が軽減された」と答えた養育者の割合：70%

- ・ピアカウンセリング：6回、11人（月1回）（9月末現在）
（講演会を10月21日に開催）
- ・臨床心理士による専門的支援：延107件（9月末現在）
- ・港区障がい者相談支援センターにおける相談件数：1,811件（9月末現在）

取組実績

【業績目標の中間点検（8月末時点）】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 達成見込みである。

※目標に対する達成状況の最終測定については、今後、アンケートなどにより実施予定。

4) 児童虐待の防止の取組み 【予算額 201千円】

要保護児童対策地域協議会において、関係機関と連携し児童虐待ケースの的確な対応と支援に向け確実に進捗管理を行います。また、地域の身近なところで子育てに関する悩みや不安が相談できるよう、これまで養成してきた「子育て支援サポーター」や地域の子育て支援団体、グループと連携し、虐待の発生防止や早期発見、虐待事案への迅速な対応・適切な対応を行います。また、区民や関係機関に対し、児童虐待防止や子育て支援に関する講演会を実施します。

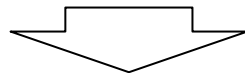
目 標 講演会のアンケートで虐待防止や子育て支援への理解が深まった人の割合：80%

取組実績

・要保護児童対策地域協議会 実務者会議の開催：7回（9月末現在）

・子育て支援連絡会開催回数：6回（9月末現在）

（虐待防止に関する講演会、子育て支援及び連携に関する講演会 平成28年1・2月に各1回開催予定）



【業績目標の中間点検（8月末時点）】

〔取組〕 予定どおり進捗できている。

〔目標〕 達成見込みである。

※目標に対する達成状況の最終測定については、今後、講演会開催時のアンケートにより実施予定。



2 区民の健康増進と生活環境の改善

健康づくりについて情報提供や学習機会を提供し、普及・啓発に努めます。

生活習慣病を予防するため、食生活の改善や適度な運動の取り組み方法など、健康的な生活習慣についての啓発を行い、健康づくりを支援します。

区内の健康増進活動を行っている事業者や団体・グループなどと連携・協働して、区民が主体的に生活習慣の改善や健康づくりに取り組む機会や場を提供します。

疾病の早期発見につながるよう、がん検診や健康診査を受診しやすい環境整備を行うとともに、積極的な広報を行います。

ウォーキングなど気軽に実践できるスポーツの普及を促進するとともに、身近な施設における区民のスポーツ活動を支援します。

区内で行われる参加型のスポーツイベントやレクリエーション活動に関する情報を積極的に発信します。

より多くの人にスポーツの楽しさを知ってもらえるよう、プロスポーツなどの高度で魅力的なスポーツにふれられる機会を広げます。

区民ボランティアや地域団体と連携し、花と緑を育てる活動やまちの美化活動を促進します。

関係機関等と連携し、国道 43 号の沿道環境の改善に向けて、公共交通の利用促進など、環境に配慮した取り組みを進めます。

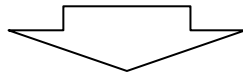
1) 区民の健康増進 【予算額 521千円】

運動習慣づくりや食生活の改善など、区民の主体的な健康づくりのきっかけとなるよう、これまで養成してきた運動サポーターと協働し、地域において運動・健康づくり講座（運動サポーター地域講座）や健康講座を開催し、区民の健康アップを図ります。

特に 11 月を港区健康月間と位置付け、健康づくりイベントを開催するとともに、健康増進活動を行っている団体やグループ、関係機関、事業者等と連携して、区民が気軽に参加できるような健康づくり支援の取り組みを行います。

- | | |
|-----|---|
| 目 標 | ・健康月間中に健康づくり支援の取組み協力を得た団体、グループ、関係機関等：15 団体以上
・運動サポーターと協働した運動・健康づくり講座を受講し、運動・健康づくりへの理解が深まったと答えた人の割合：70%以上 |
|-----|---|

- | | |
|------|---|
| 取組実績 | ・運動講座（健港プロジェクトX）：2 講座（34 人）（9 月末現在）
・運動サポーターステップアップ講座（区役所内実施）：6 回（延 167 人）（9 月末現在）
・運動サポーター地域講座：2 地域 各 1 回（9 月末現在）
・健康月間中に健康づくり支援の取組み協力を得た団体・グループ、関係機関数等：17 団体（9 月末現在） |
|------|---|



【業績目標の中間点検（8月末時点）】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 達成見込みである。

※目標に対する達成状況の最終測定については、今後、アンケートなどにより実施予定。

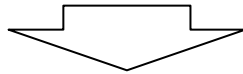
2) がん検診・特定健康診査の受診率の向上 【予算額 277千円】

区民のがん検診及び特定健康診査の受診率の向上を図るため、休日健診の増加や胃・大腸・肺がん検診の同時実施など、受診の利便性を高めるとともに、国民健康保険加入者を対象に区の広報紙など関係団体の協力を得て、広報・周知を行います。

- 目 標**
- ・区保健福祉センターにおけるがん検診（胃がん）の1回あたりの受診者数：50人
 - ・特定健康診査の1回あたりの受診者数：55人

- ・がん検診：4回（51人/回）（9月末現在）
- ・特定健診：4回（60人/回）（9月末現在）

取組実績



【業績目標の中間点検（8月末時点）】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 達成見込みである。

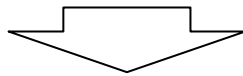
3) プロスポーツなどにふれられる機会の提供 【予算額 ー 千円】

スポーツの楽しさを知っていただけるよう、セレッソ大阪などの協力を得て、プロスポーツを気軽に観戦できる機会を提供するなど、高度で魅力的なスポーツに身近に触れられる機会を広げます。

目 標 区役所が提供した機会を利用した区民の数：200人(年間)

取組実績

- ・6/6：セレッソ大阪 港区民優待デー（57名） 区の広報紙・ホームページ
・ツイッターにて周知
- ・9/23：セレッソ大阪 港区民デーを実施（47名） フラグベアラー（小学生8名）
- ・10/4：シュライカー大阪 港区民デーを実施 PKチャレンジ（小中学生4名）



【業績目標の中間点検（8月末時点）】

〔取組〕 予定どおり進捗できている。

〔目標〕 達成見込みである。

4) 種から育てる地域の花づくり支援事業 【予算額 1, 455千円】

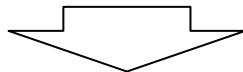
区民自らが種から育てた花を自分のまちに植えることで、自分のまちを美しくする意識の醸成や花に関心がある住民同士の交流につなげます。また、愛着を深めながら自主的なまちづくりへの参加意識を高め、潤いのある美しいまちづくりを推進します。

目 標 花づくり広場6か所で植付け管理を行う区民ボランティア数を前年度より5%増加させる。

(目標：89名)

取組実績

- ・花づくり広場6か所で植付け管理を行う区民ボランティア数：108名
- ・花づくり広場、ミニ花づくり広場で栽培した約11,000株を出荷し、公共施設に植付け済み。(9月末現在)
- 10月以降、約8,000株を出荷予定。



【業績目標の中間点検（8月末時点）】

〔取組〕 予定どおり進捗できている。

〔目標〕 達成見込みである。

3 多様性を尊重しあう共生社会づくりの推進

世代や性別、国籍・文化、障がいの有無などの違いを認め合い、個性と能力が発揮できる社会をめざすため、多様な学習機会を提供し、人権意識の普及・高揚を図ります。

地域や企業と連携し、さまざまな人権課題についての啓発を進めます。

区役所が関係機関との連携を図り、区民に身近な人権相談窓口としての機能を高めます。

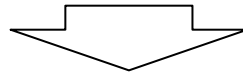
1) 区における人権啓発推進・人権相談事業 【予算額 2,086千円】

区人権啓発推進協議会と連携して、地域に密着した人権啓発活動を実施するとともに、区役所において人権情報の提供並びに人権相談を実施します。

目 標 事業に参加した人に対するアンケートで「人権についての理解が深まった」と答えた区民の割合：80%

取組実績

- ・人権展実務者会議：2回（9月末現在）
- ・人権セミナー（1回・ろう LGBT）開催：（9月末現在）
- ・区広報紙掲載2回（就職差別撤廃月間・人権擁護委員特設相談所・連続差別事象について）
（9月減現在）
- ・区 HP 掲載4回（人権セミナー2回・連続差別事象・ヘイトスピーチ）：（9月末現在）
- ・区民モニター2回（人権擁護委員特設相談所・連続差別事象）：（9月末現在）

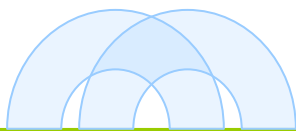


【業績目標の中間点検（8月末時点）】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できていない。
- 〔目標〕 達成見込みである。

※目標に対する達成状況の最終測定については、今後、アンケートなどにより実施予定。





経営課題 4 子育て世代が魅力を感じるまちづくり

区内では少子高齢化が進み、生産年齢人口（１５歳～６４歳）の減少によるまちの活力の低下が懸念されています。子育て世代の居住を促進し、バランスの取れた人口構成を確保していくことが重要です。

区内では子育てを支援する団体やグループの活動が活発です。子育て世代が魅力を感じるまちづくりのために、これらの団体と連携・協働しながら、子育てしやすい環境づくりを進めていく必要があります。

子育て世代が魅力を感じるまちづくり



こどもの英語でのコミュニケーション能力を高める英語交流事業 他

子育てしやすい環境を作るほか、子どもたちが自ら学び、考え、課題を解決し成長していく力をはぐくむ。

1 子育てしやすい環境の整備

増大する保育ニーズに対応するため、引続き待機児童ゼロを維持するとともに、共働き世帯のニーズに応える多様な保育サービスの充実を図ります。

地域の子育て支援団体やグループが行う活動を支援し、子育てにかかる負担や不安を軽減します。

新たな担い手が子育て支援活動に参画できる機会を提供します。

地域の子育て支援団体やグループと連携し、気軽に子育てについて相談できる体制を整えるとともに、区内の多様な子育て関係情報をわかりやすく提供します。

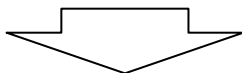
1) 保育所待機児童への対応 【予算額 一 千円】

低年齢児の保育所入所枠を確保するため「小規模保育事業」を実施し、事業者を公募します。また、「子ども・子育て支援法」施行に伴い、平成 27 年度より保護者が、認定こども園・幼稚園・保育所での教育・保育や、一時預かり、放課後児童クラブ等の地域子育て支援事業等の中から適切なものを選択し、円滑に利用できるよう支援を行います。

目 標 小規模保育事業所を少なくとも 1 カ所新設。

- ・小規模保育事業所 1 カ所を公募より決定し、平成 28 年 4 月開設に向け準備中。

取組実績



【業績目標の中間点検（8 月末時点）】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 達成見込みである。

※目標に対する達成状況の最終測定については、今後、アンケートなどにより実施予定。

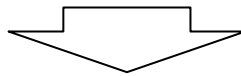
2) 子育て支援情報の提供・ネットワークづくりの支援 【予算額 412千円】

子育てされている方をサポートするために、子育て支援情報を的確に提供するほか、乳幼児健診時に状況に応じた支援や相談、情報提供を行います。また、児童養育等に関する相談指導を行うとともに、子育て支援機関が連携し在宅で子育てを行っている家庭を見守り支援します。

目 標 子育て情報が役立ったと答えた区民の割合：70%

取組実績

- ・区広報紙特集号を作成、配布：（7月）。
- ・乳幼児健診時に子育て関連情報の提供及び相談：18回（9月末現在）
- ・子育て支援連絡会開催回数：6回（9月末現在）
（「楽育子育てマップ」：平成28年2月～3月に作成し、4月から配布予定）



【業績目標の中間点検（8月末時点）】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 達成見込みである。

※目標に対する達成状況の最終測定については、今後、アンケートなどにより実施予定。

2 子育て世代の居住促進

さまざまな機会をとらえて、交通の利便性や豊かな歴史・文化資源など、港区に住む魅力について、積極的に情報発信を行います。

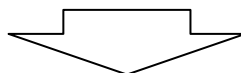
1) 港区に住む魅力の発信 【予算額 ー 千円】

交通の利便性や豊かな歴史・文化資源など、港区に住む魅力について、マスコミ等への情報提供により、積極的に発信します。

目 標 マスコミ等による情報発信：4回

取組実績

- ・マスコミ取材件数：8件（9月末現在）



【業績目標の中間点検（8月末時点）】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 達成見込みである。

3 子どもの学ぶ力、生きる力の育成

学校園との連携を強化し、学校教育の支援や就学制度の改善など、さまざまな教育課題に取り組めます。

福祉的課題や発達上の課題を有する児童などへの支援を充実し、指導にあたる教員の負担を軽減することにより、学校教育環境の向上を図ります。

学校・地域・企業・NPO等と協働して、子どもの見守りや健全育成をはじめ、さまざまな教育活動に取り組むことにより、子どもの生きる力を育みます。

1) 学校園と連携した教育改革の推進、教育課題解決への取り組み

【予算額 97千円】〈新規〉

学校協議会を通して保護者・区民の意見を学校園の運営に反映させるとともに、教育行政連絡会等を通して校長と連携を強化し、地域の状況を踏まえながら、学校教育支援や学校配置の適正化などの教育課題に取り組めます。

目 標 学校園との連携強化に係る新規取り組みの実施件数：2件

取組実績

- ・学校支援ボランティア確保のための5月号広報紙への掲載などの広報連携
- ・「港区 子どもつながりワークショップ～港区に笑顔のわをひろげよう～」の開催支援
- ・各学校との連携して「学校案内」を作成
- ・校長経営戦略予算確保に向けた区担当教育次長の副申書の作成
- ・港区教育行政連絡会を開催（小・中：各1回）
- ・区内の小・中学校の平成27年度第1回学校協議会への担当職員の出席、学校協議会委員研修会を開催（7月2回）
- ・区小学校長会・教頭会への出席・連絡調整：5回（9月末現在）

【業績目標の中間点検（8月末時点）】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 達成見込みである。

2) 学校園における福祉的課題をかかえる児童生徒への支援

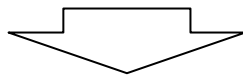
【予算額 3, 166千円】

社会福祉等の専門的な知識や技術に加えて教育分野に関する知識を有するスクールソーシャルワーカーを区内市立幼稚園及び小・中学校へ巡回・派遣し、福祉的課題をかかえた児童生徒及びその家庭に対し、関係機関等のネットワークを通じた福祉施策の的確な活用など、多様な支援方法を用いて課題解決に向けた対応を行います。

目 標 本事業が「有効」と回答した学校園の割合を 70%以上にする。

- ・派遣日数：計 81 日 (444.5h) (9 月末現在)
- ・相談ケース：63 件 (うち好転件数 59 件) (9 月末現在)

取組実績



【業績目標の中間点検 (8 月末時点)】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 達成見込みである。

※目標に対する達成状況の最終測定については、今後、アンケートなどにより実施予定。

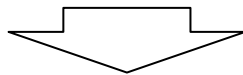
3) 学校における発達障がいサポート事業 【予算額 3, 711千円】

区内市立小・中学校に在籍する発達障がい等のある児童生徒のうち、行動面で特に支援が必要とされる ADHD 等の重度な児童生徒に対し、遠足や社会見学等の校外学習や放課後の課外活動である部活動等をサポートするため、地域の人材を活用した発達障がいサポーターを配置します。

目 標 本事業が「有効」と回答した発達障がいサポーター配置校の割合：80%以上

- ・配置時間：1,518.5h (9 月末現在)
- ・サポーターのスキルアップに向けた研修の周知

取組実績



【業績目標の中間点検 (8 月末時点)】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 達成見込みである。

※目標に対する達成状況の最終測定については、今後、アンケートなどにより実施予定。

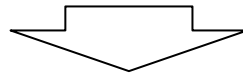
4) 中1ギャップ問題の解決に向けた取り組み 【予算額 895千円】

港区における中1ギャップ問題の解決に向け、家庭学習の促進を行うとともに別室登校等サポーターによる不登校児童生徒等への対応策を実施します。

目 標 別室登校等サポート事業が「有効」と回答したサポーター配置校の割合：80%以上

- ・新1年生及び転入者への「家庭学習の手引き」の配布
- ・「家庭学習の手引き」の出前講座へのメニュー化
- ・別室登校等サポート事業：335h（9月末現在）

取組実績



【業績目標の中間点検（8月末時点）】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 達成見込みである。

※目標に対する達成状況の最終測定については、今後、アンケートなどにより実施予定。

5) 港区サードプレイス事業（こどもの居場所づくり）

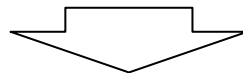
【予算額 481千円】〈新規〉

子どもに家庭でも学校でもない、地域のボランティアが運営する第3の居場所（サードプレイス）を提供することによって、自由に話したり学習したりできる環境や、地域の人々とのつながりの中で、生きる力・学ぶ力を育みます。

目 標 複数回の参加者の割合：50%以上

- ・4月から毎月第2土曜日の午後に定例開催。

取組実績



【業績目標の中間点検（8月末時点）】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 達成見込みである。

※目標に対する達成状況の最終測定については、今後、アンケートなどにより実施予定。

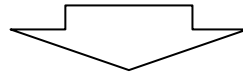
6) 絵本によるこどもの読書活動の促進 【予算額 412千円】

区内の学校図書館や地域の公共施設等において、地域の主体的な「絵本ひろば」の開催を促進することで、子どもの主体的な読書活動を推進します。

目 標 地域が主体的に実施する絵本ひろばの回数：3回

・「絵本ひろば」の開催：4回（うち地域が主体的に実施1回）（9月末現在）

取組実績



【業績目標の中間点検（8月末時点）】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 達成見込みである。

7) 地域の強みを活かした教育力向上事業（こどもサイエンスカフェ）

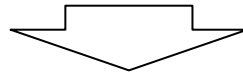
【予算額 57千円】〈新規〉

区内の教育資源を有する施設と連携するなど、地域の強みを活かした社会教育の機会を提供します。

目 標 参加してよかったと回答した参加者の割合70%以上

・「こどもサイエンスカフェ」の開催：5回（9月末現在）

取組実績



【業績目標の中間点検（8月末時点）】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 達成見込みである。

※目標に対する達成状況の最終測定については、今後、アンケートなどにより実施予定。

8) 子どもの英語でのコミュニケーション能力を高める英語交流事業

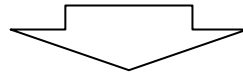
【予算額 6, 444 千円】

小中学生を対象に英語圏での生活を再現した通所型の英語村などアクティブな英語学習や英語づけの合宿などを通じて、英語によるコミュニケーション能力や英語への学習意欲、外国文化への関心等を高め、グローバル人材の育成をめざします。

目 標 ・小学生（3年生）の受講者のうち、「外国の人が話しかけてきたらどうしますか？」に対して「英語で受け答えする」と回答した者：70%以上

- ・小学生コースへの参加者：21 名、中学生コースへの参加者：10 名
- 英語カフェコースへの参加者：51 名（9 月末現在）

取組実績



【業績目標の中間点検（8 月末時点）】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 達成見込みである。

※目標に対する達成状況の最終測定については、今後、アンケートなどにより実施予定。

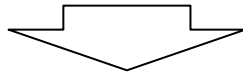
9) 青少年の健全育成の推進 【予算額 2, 179 千円】

青少年の健全育成や非行防止を図るため、青少年指導員による街頭指導、夜間巡視、青少年福祉委員による社会環境浄化活動等に加えて、各中学校区の「青少年育成推進会議」における研修会の開催などを支援し、学校・家庭・地域が協働・連携して取り組む活動を推進します。

目 標 青少年育成推進会議の参加者がアンケートで、「青少年育成推進活動が有意義である」と回答した者の割合：70%

- ・「こども 110 番の家」事業の協力家庭・事業所を表示した地図を小学生の保護者へ学校を通して配布するとともに区 HP へ掲載、掲出物品の配布（6 月）、「こども 110 番の家」の旗のデザインをカンガルーからみなりんに変更し、耐久性に優れた素材で作成（8 月）
- ・校下青少年育成推進委員会で、少年非行防止活動ネットワークを活用し、講演会を実施（1 校：6 月）
- ・「青少年育成推進会議」における夜間巡視等（7・8 月）

取組実績

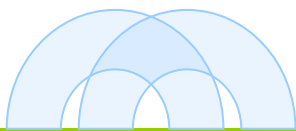


【業績目標の中間点検（8月末時点）】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 達成見込みである。

※目標に対する達成状況の最終測定については、今後、アンケートなどにより実施予定。





経営課題5 訪れたい魅力と活気あふれるまちづくり

港区は卸売・小売業の事業所や飲食店が多い、比較的商業の盛んなまちですが、その数は年々減少しています。一方で、区内の商店街では、地域と連携したにぎわいイベントなど、個性ある取組みが行われています。

以前は準工業地域にものづくり企業が多く立地していましたが、近年、マンションや住宅建設が進む中、住工混在地域が増えています。

各地域の魅力ある資源を活かしてまちのにぎわいを生み出すなど、地域経済の活性化を図る必要があります。

訪れたい魅力と活気あふれるまちづくり



築港・天保山エリア魅力パワーアップ事業 他

築港地区を始め、各地域の魅力ある資源をいかして、まちのにぎわいを生み出し、経済の活性化を図る

1 地域経済の活性化

区内の事業所や商店街などに対して、経営基盤の強化を支援する情報提供を行います。
町工場などが安心して操業できる環境を確保するため、実態やニーズの把握に努め、課題解決に向けた取り組みを支援します。
事業連携等によるビジネスチャンスを広げるため、区内外の事業所どうしの交流を促進し、サービスや商品の付加価値を高めるネットワークの拡充に努めます。
港区の魅力を発信する「みなトクモン」を活用し、「行きたい・買いたい・住みたいまち・港区」というブランドづくりに取り組むことで地域経済の活性化をめざします。

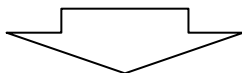
1) 中小企業の経営支援事業 【予算額 一 千円】

区内中小企業の経営支援を目的として、西区、大正区などの隣接区や大阪商工会議所西支部、港産業会などの商工関連団体と連携して、中小企業支援情報の提供を行うとともに企業間交流を促進し、ビジネスチャンスの拡大をめざします。

目 標 企業連携につながる商談件数：3 件以上

取組実績

- ・ 中小企業支援情報をホームページに掲載中
- ・ 大阪商工会議所西支部、港産業会などの商工関連団体と連携して、企業間交流会を開催予定（2 月頃）



【業績目標の中間点検（8 月末時点）】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できていない。
- 〔目標〕 達成見込みである。

2) 港区魅力発掘・創出事業 【予算額 1, 527千円】

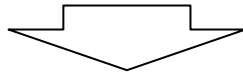
「夕陽」や「ひまわり」、「あなご」など港区のイメージをモチーフにしたオリジナルな商品等を開発する事業者等を側面的に支援し、港区の名物「みなトクモン」として積極的に広報・周知することにより、商品としての魅力をアピールして地域経済の活性化をめざします。

また、「みなトクモン」を通じて区民の「わがまち」への愛着を醸成し、まちの魅力を共有することで、「住んで誇りに思えるまち」をめざします。

目 標 「みなトクモンのたまご」を活用して創出が見込まれる商品等の数（5つ）

- ・地域イベントなどで「みなトクモン」のPR
- ・商品等（「みなトクモン」）の創出数：10品（延べ30品）（9月末現在）
- ・みなトクモン料理コンテスト実施（9月）

取組実績



【業績目標の中間点検（8月末時点）】

〔取組〕 予定どおり進捗できている。

〔目標〕 達成見込みである。

2 築港地区のにぎわいづくり

住民、商店会、企業、行政等の多様な主体によるまちづくりの取り組みをベースとして、イベントの収益等を活動資金として確保しながらエリア魅力の発信や創出に自立的・継続的に取り組むことができる仕組みづくりをめざします。

民間活力による豊富な観光資源の活性化や、クルーズ客船の誘致を強化する広域行政の取り組みと連携して、まちづくりの視点をもって、エリア全体の回遊性や、地域のホスピタリティの向上などエリア魅力の創出に取り組みます。

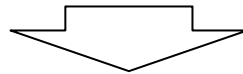
1) 築港・天保山エリアのにぎわいづくり事業 【予算額 1, 000千円】〈新規〉

築港・天保山エリアで、地域住民や企業、活動グループ等が連携する「築港・天保山にぎわいまちづくり実行委員会」や「花の海遊ロード美化協議会」が主体となり、にぎわいまちづくりや環境美化の活動を行っています。更にこのエリアで活動する多様な活動主体間の連携・協働を進め、年間を通じたにぎわいイベント等を開催することで、エリア魅力の更なる向上と活性化をめざします。

目 標 市民活動団体、地元企業、商店等が連携・協働して実施するにぎわいイベントの開催：2回以上

取組実績

- ・天保山手持ち花火大会：（7月18日）
- ・赤レンガ広場手作りマルシェ：（8月9日）
- ・スーパーカー展示撮影会（広場）：（9月5日）
- ・ダブルクラシック（赤レンガ倉庫とクラシックカーとジャズ）：（9月6日）
- ・築港天保山にぎわいまちづくり実行委員会の開催（2回）
同委員会ワーキングの開催（5回）：（9月末現在）
- ・花の美化協議会の開催（1回）、同協議会合同部会の開催（6回）：（9月末現在）



【業績目標の中間点検（8月末時点）】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 達成見込みである。

2) 築港・天保山エリア魅力パワーアップ事業

【予算額 20,000千円】〈新規〉

築港・天保山エリアの魅力の向上と活性化に向けて、民間のアイデアと活力を活用して地域資源を活かした取り組みを重点的に実施することにより、地域・民間ベースで自主的に活動資金を確保しながらエリア情報の発信や魅力創出を持続的、自立的に推進することができる仕組みづくりをめざします。

目 標 地域資源を活かしたまち魅力の創出に地域・民間ベースで自主的に活動資金を確保しながらエリア情報発信や魅力創出を持続的、自立的に推進することができる仕組みづくりにつなげていく。

- ・本事業の実施により築港・天保山エリアの来訪者の増加をめざす。
- ・区民モニターアンケート等で、築港・天保山エリアに魅力を感じると答えた人が平成26年度より10%の増加をめざす。

取組実績

- ・ロゴ使用促進、パンフレットによるPR、築港・天保山魅力創造検討会や実行委員会等による運営体制、府のミュージアム基金を活用した案内板整備・高灯籠型案内板、赤レンガ倉庫横広場社会実験
- ・自主財源確保方策として、赤レンガ倉庫横広場を8月から利用開始。
- ・おもてなし力向上方策として、大阪府補助金を活用し、天保山公園に新たな魅力を追加し、まちなかの回遊性を高めるサイン整備を行う（交付金決定済み）。
- ・HP、FBを開設済み。・検討会開催（1回）。
- ・同検討会のまち魅力創造部会（2回）

【業績目標の中間点検（8月末時点）】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 達成見込みである。

※目標に対する達成状況の最終測定については、今後、アンケートなどにより実施予定。



3 まちづくりに向けた資源・資産の活用

弁天町駅前土地区画整理記念事業用地については、今後、新たな公共施設を整備するとともに病院を共同事業者として一体的に開発し、弁天町駅周辺の活性化を促進します。また、市岡商業高校跡地やＪＲ臨港（貨物）線跡地、弁天埠頭など区内の遊休地や資産の活用については、これからのまちづくりの方向性や区民の声を踏まえつつ、関係局と連携して活性化策の検討を進めます。

地域にかかわりの深いプロスポーツを通じて、スポーツの楽しさや高度で魅力的な競技にふれられる機会を提供します。

1) 弁天町駅前土地区画整理記念事業に係る検討調査

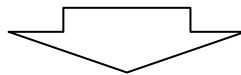
【予算額 6, 866千円】＜新規＞

弁天町駅前に整備する「（仮称）区画整理記念・交流会館」（平成33年度完成予定）では、子育て世代から高齢者まで幅広い世代が活動・交流できる事業を実施することとしており、その具体的な事業内容を区民の意見をふまえてとりまとめるとともに、供用廃止する区民センターや図書館移転後の建物の取扱いについて検討します。

目 標 「（仮称）区画整理記念・交流会館」での事業内容について、基本的な考え方をとりまとめる。

取組実績

- ・新たに整備する（仮称）交流会館で実施する事業の内容等について意見をいただくため「弁天町駅前土地区画整理記念事業検討ワーキング」（公募区民19名、区長推薦委員4名で構成）を開催：2回（8月3日、9月14日）
- ・供用廃止する区民センターや図書館移転後の建物の取扱いについて、業者委託によりニーズ調査や建物の取扱いで想定されるさまざまなパターンについて課題等を整理。（区分所有者への説明会を開催予定）



【業績目標の中間点検（8月末時点）】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 達成見込みである。

2) プロスポーツなどにふれられる機会の提供 【予算額 ー 千円】(再掲)

スポーツの楽しさを知っていただけるよう、シュライカー大阪や大阪エヴェッサ等の協力を得て、プロスポーツを気軽に観戦できる機会を提供するなど、高度で魅力的なスポーツに身近に触れられる機会を広げます。

目 標 区役所が提供した機会を利用した区民の数：200 人(年間)

- ・ 6/6：セレッソ大阪 港区民優待デー（57 名） 区の広報紙・ホームページ
ツイッターにて周知
- ・ 9/23：セレッソ大阪 港区民デーを実施（47 名） フラッグベアラー（小学生 8 名）
- ・ 10/4：シュライカー大阪 港区民デーを実施 PK チャレンジ（小中学生 4 名）

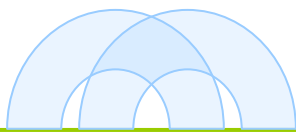
取組実績

【業績目標の中間点検（8 月末時点）】

〔取組〕 予定どおり進捗できている。

〔目標〕 達成見込みである。





経営課題6 自律した自治体型の区政運営

豊かなコミュニティの形成や多様な協働による活力ある地域社会の実現に向けて、区長が自らの権限と責任のもとで、区内の実情や特性に即して施策・事業を総合的に展開するとともに、その成果を区民が評価し、施策事業の改善や新たな展開につなげていく必要があります。区民の日常生活の安全・安心を担う総合拠点として、区民が利用しやすい便利で親切的な区役所づくりを進める必要があります。

また、教育の分野においては、保護者・区民、校長などの多様な意見・ニーズをくみ取り、学校・地域の状況に応じて学校支援を行うなど、教育環境の向上に取り組めます。

1 区長のマネジメントによる港区の特性に応じた区政の推進及び教育環境の向上

区長が自らの決定権を活用し、地域の実情や特性に応じた施策や事業を各部局と連携して実施し、その取り組みや成果を積極的に発信します。

「市民の声」や区民モニターアンケート等により、多様な区民の意見やニーズを的確に把握し区政に反映します。

区政運営について、区政会議や区民モニターアンケートなどを通じて、企画段階から多様な区民との対話や協働により進めるとともに、より多くの区民からの評価をいただきます。

教育行政連絡会議を活用して、小・中学校との連携を強め、教育施策を推進します。

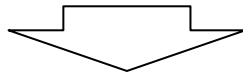
1) 区長の決定による施策・事業の推進 【予算額 18,522千円】

区長の決定権を活用して各部局と連携して施策・事業を実施し、その取り組みや成果を区の広報紙やホームページ、ツイッターなどで区長自ら積極的に発信します。

目標 「広報紙やホームページなどで港区の施策・事業に関する区長からのメッセージやお知らせを読んだことがある」と答えた区民の割合：80%

- ・区広報紙への区長メッセージの掲載：6回
- ・区ホームページへの区長メッセージの掲載：6回
- ・区長によるツイッター・フェイスブック 投稿：177回

取組実績



【業績目標の中間点検（8月末時点）】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 達成見込みである。

※目標に対する達成状況の最終測定については、今後、アンケートなどにより実施予定。

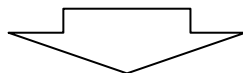
2) 多様なニーズの把握と区政への反映 【予算額 4,386千円】

区民モニターアンケートを実施するほか、市民の声、みなと改善箱に加えて、区長による出張型意見交換会、フェイスブック、ツイッターなどにより多様な区民の意見やニーズを的確に把握し区政に反映します。

- 目 標** ・多様な区民の意見・ニーズを把握し、区の事業実施や施策への反映に活用する。また、設定された目標値に対する効果測定の指標とするため、モニターアンケートを活用する。
- ・区民モニターアンケート等により寄せられた意見やニーズを区政に反映させた件数：10件

取組実績

- ・区民モニターアンケート（区民モニター登録者数：1,100名
第1回実施予定11月）
- ・区長による出張型意見交換会 未実施
- ・寄せられた意見やニーズを区政に反映させた件数：8件



【業績目標の中間点検（8月末時点）】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 達成見込みである。

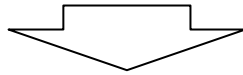
3) 区政会議運営事業 【予算額 1, 2 2 2 千円】

地域活動協議会の代表者や公募の区民等による「区政会議」において、区の施策や事業についての意見や評価をいただきます。

目 標 区民から、区政における様々な課題について意見をいただき、区政に関する評価を行うために「区政会議」を開催し、区政会議での意見や評価を施策・事業の見直しに10件反映させる。

取組実績

- ・ 6月下旬、平成27年度第1回区政会議及び各部会を開催。委員改選を経て11月に第2回区政会議を開催する。弁天町駅前土地区画整理記念事業等、区政会議において検討を行う予定。
- ・ 区政会議で挙げられた意見を施策等に反映させた件数：4件（9月末現在）



【業績目標の中間点検（8月末時点）】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 達成見込みである。

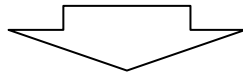
4) 区の広聴関係事業 【予算額 1 3 0 千円】

「市民の声」「み・な・と改善箱」「みなりんリンプロジェクト」「twitter」「たばっちちゃんとみなと〜く」を通年実施します。

目 標 ・区政・市政に関する区民の意見・要望等を適切かつ迅速に処理を行い、説明責任を果たすとともに、ご意見を区政・市政に反映させることで、市民参画、市民と協働した市民本位の市政を実現する。
・区民からの意見に対し区が処理した対応について、本人の同意を得て区の広報紙やホームページ、掲示板などで公表した件数：全件

取組実績

- ・ 市民からの区政等に対する意見・要望等について、随時適切かつ迅速に処理を行っている。
- ・ 届いた意見のうち、その対応を区の広報紙やホームページ、掲示板などで公表した割合：全件



【業績目標の中間点検（8月末時点）】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 達成見込みである。

5) 学校園と連携した教育改革の推進、教育課題解決への取り組み

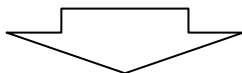
【予算額 97千円】〈新規〉(再掲)

学校協議会を通して保護者・区民の意見を学校園の運営に反映させるとともに、教育行政連絡会等を通して校長と連携を強化し、地域の状況を踏まえながら、学校教育支援や学校配置の適正化などの教育課題に取り組めます。

目 標 学校園との連携強化に係る新規取り組みの実施件数：2 件

取組実績

- ・ 学校支援ボランティア確保のための 5 月号広報紙への掲載などの広報連携
- ・ 「港区 子どもつながりワークショップ～港区に笑顔のわをひろげよう～」の開催支援
- ・ 各学校との連携して「学校案内」を作成
- ・ 校長経営戦略予算確保に向けた区担当教育次長の副申書の作成
- ・ 港区教育行政連絡会を開催（小・中：各 1 回）
- ・ 区内の小・中学校の平成 27 年度第 1 回学校協議会への担当職員の出席
- ・ 区小学校長会・教頭会への出席・連絡調整：5 回（9 月末現在）



【業績目標の中間点検（8 月末時点）】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 達成見込みである。

6) 戦後 70 年記念 大阪港周辺戦争体験・復興記録事業

【予算額：5,050千円】〈新規〉(再掲)

戦争体験者(20名程度)から聞き取りを行うとともに、大阪大空襲等による大阪港周辺の戦争被害から区民が一丸となって取り組んだ港区の復興に関する資料を収集・記録・編集し、ホームページ等により公表します。また、小・中学生を中心とする、子どもとともに復興の歴史を学び、戦争の悲惨さ等について後世に語り継いでいきます。

目 標 区民モニターアンケートにおける港区を中心とした大阪港周辺の戦争被害や戦後復興についての認知度を、平成 27 年度中に 50%以上にする。

- ・広報みなと 8 月号に特集記事を掲載。
- ・広報みなと 9 月号以降、毎月、戦争体験者の体験記録を連載。
- ・区ホームページに大阪港周辺と港区の歴史を振り返る原稿を作成中。
- ・10 月の港区民まつりでのパネル展示。

取組実績

【業績目標の中間点検(8月末時点)】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 達成見込みである。

※目標に対する達成状況の最終測定については、今後、アンケートなどにより実施予定。

2 親切で信頼される区役所づくり

区民の日常生活の安全・安心を担う身近な総合行政の拠点として、区民から寄せられるさまざまな相談や要望を受け付け、各局と連携し適切に対応します

災害や事故をはじめ市民生活に重大な影響を与えるさまざまなリスクに対処できるよう危機管理機能を拡充します。

地域や地域活動に関する情報を区役所内で共有し、各課・担当を越えて地域の実情に応じた支援を行います。

常に区民に満足してもらえるようサービスの向上を図ります。

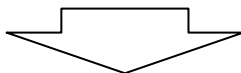
1) 区役所の相談機能の強化 【予算額 一 千円】

日常生活に関する様々な相談や要望を来庁・郵便、電話やインターネットなどにより受け付け、関係局と連携して適切に対応します。

目 標 受け付けた相談や要望に適切に対応した件数：全件

・適切に対応できていない件数：0 件

取組実績



【業績目標の中間点検（8月末時点）】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 達成見込みである。

2) 地域の実情に応じたきめ細やかな支援 【予算額 一 千円】

地域や地域活動に関する情報を区課長会等において各課・各担当で共有するとともに、具体的な課題に対しては中間支援組織とも連携しながら地域の実情に応じた一体的、総合的な支援を各課・担当の枠を超えて行います。

目 標 地域課題に対して、中間支援組織と連携して地域実情・課題にあった支援を行った地域の数

: 11 地域（全地域）

- ・区課長会において地域や地域活動に関する情報を提供。
- ・中間支援組織（まちづくりセンター）が、地域活動協議会主催の会合、事業に積極的に参加し各地域実情の把握に努め、地域活動支援担当と支援連携を行った。
- ・地域を支援する担当や中間支援組織が情報を共有する担当課連絡会議を毎月開催。

取組実績



【業績目標の中間点検（8月末時点）】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 達成見込みである。

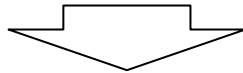
3) 市民満足（CS）の向上 【予算額 一 千円】

職員による提案や来庁者アンケート・みなと改善箱に寄せられた区民の意見を踏まえ、区役所サービスの向上に向けた取組みを推進します。

目 標 区政運営に関する事項についてのアンケートで「あなたは、区役所での来庁者への案内サービスや窓口での対応について、依然に比べよくなったと感じましたか」との質問に対する肯定的意見の割合：
75%

取組実績

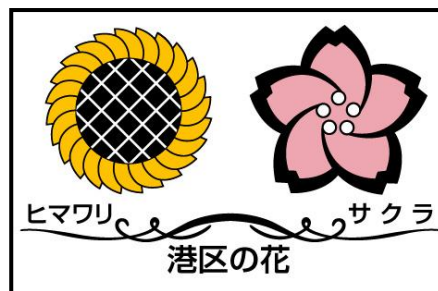
- ・各課の課長代理等をメンバーとする窓口サービス向上委員会を設置（5月）
- ・各課で課題を抽出し、サービス向上の取組を実施（7月～）
- ・外部講師による接客研修を各課の実情を踏まえて実施（8月・9月）
- ・庁舎内の案内表示をよりわかりやすくするために改善（10月）



【業績目標の中間点検（8月末時点）】

- 〔取組〕 予定どおり進捗できている。
- 〔目標〕 達成見込みである。

※目標に対する達成状況の最終測定については、今後、アンケートなどにより実施予定。



【区運営方針と区運営方針概要版に関するお問い合わせ】

大阪市港区役所総務課（区政統括グループ）

所在地：大阪市港区市岡１－１５－２５

電話：０６－６５７６－９８８５

FAX：０６－６５７２－９５１１

ホームページ：<http://www.city.osaka.lg.jp/minato/>

ツイッター：<http://twitter.com/minatokuyakusyo>

フェイスブック：<http://www.facebook.com/minatokuyakusyo>